



いぶき

いぶき 第17号
 発行者 原田 英雄
 編集 患者サービス向上委員会
 香川県丸亀市城東町3丁目3番1号
 TEL (0877)23-3111
 FAX (0877)24-1147
 季刊誌年4回発行
<http://www.kagawah.rofuku.go.jp>

急性冠症候群の診断と治療

循環器科 水尾 浩三

はじめに

中高年の方の病気で特徴的なのは、加齢に伴う動脈硬化による血管系の病気が多いということです。動脈硬化は血管壁に脂肪などが沈着し血管の弾力性が失われて固くなる現象です。動脈硬化がおきると血管壁が厚くなり血管内腔が狭くなります。心臓を栄養する血管を冠動脈といいますが、冠動脈に動脈硬化がおけると血管内腔が狭小化し十分な血液を送ることができなくなり、さらに血栓が形成されると血管は閉塞し心筋虚血、心筋壊死を生じます。その結果発

香川労災病院の理念

働く人々や地域の人々に
 安全で安心のより良い
 医療と看護を提供します

生する疾患を急性冠症候群といえます。急性心筋梗塞とか不安定狭心症などの疾患を含みます。急性心筋梗塞はある日突然、胸痛をもって発症し短時間

診断

診断 検査等で偶然心電図異常などを指摘された場合を除き、何らかの症状があつて病院を受診されるのが大半だろうと思えます。急激に生じる前胸部痛(重苦しい、締め付ける)を訴える場合がほとんどです。胸痛はしばしば左肩・上腕、下顎などに放散する(放散痛)という特徴

いてこそ治療が開始できますので、まず心疾患を疑うことが先決であり、おかしいと思えば早くに病院を受診されることを勧めます。急性心筋梗塞を発症していることは症状に加えて、心電図をとれば大体わかることが多いのですが、血液検査とか心臓超音波検査をおこなえばさらによくわかります。また冠動脈内に直接造影剤を入れて行う冠動脈造影検査をすれば診断はほぼ確定します。

治療

治療の目的は、症状を緩和し、さらに心筋虚血を解除することにより心不全、不整脈などの合併症をできるだけ防ぐことです。一旦冠動脈が



井上通女像

井上 通女(1660年~1738年)

丸亀藩士井上儀左衛門の長女として生まれ、女流文学者として名をはせた。代表作として「江戸日記」「帰家日記」などが知られている。(城西小学校北東角に銅像位置する。)

で心筋細胞が障害され、心機能低下による心不全、また致死的不整脈を生じ突然死することがあります。死亡率約20%といわれています。また死亡された方の大半は病院にまだ到着していないと思われる発症から2時間以内におこっています。

があります。ただ放散した場所の方の症状が強いか、嘔吐、不安感、不穏状態などの疾患と間違ふような症状が前面にでた場合、消化器疾患とか脳疾患などと間違ふこともあります。男性は胸痛に伴い冷汗をかくことが、また女性には放散痛が多いといわれています。診断がつ

完全閉塞すれば数時間で心筋壊死に陥ります。症状が良くなつても合併症のために後々まで苦しむこともあります。したがって診断が確定すればできるだけ早く治療を開始します。まず安静のため原則入院していただきます。急性心筋梗塞は、冠動脈が完全閉塞している状態です

で、血栓溶解療法とか冠動脈形成術(風船、ステント留置)にて血流を再開させることが必要です。一方、不安定狭心症は、血栓が形成されたり消失したりを繰り返している状態ですので、まず心筋梗塞に移行するのを防ぐため薬物治療を行い血栓の形成を阻止します。また病状によっては手術(心臓バイパス術)が必要となる場合があります。

急性冠症候群は、動脈硬化を基盤に発症してくる疾患です。血管の老化はだれでも年齢を重ねれば生じてきます。完全に予防し、また発症を予期することは大変難しいのですが、喫煙する方は禁煙をし、また肥満、糖尿病、高血圧、高脂血症のある方はそれらの十分な治療をすることが重要と考えます。

高齢者の低栄養と食事生活習慣病予防から老化予防へ

栄養管理室長 平田 邦江

食べかけの菓子パン。乾ききり、軽く、そして固い。食事の支度がおっくうになったり、掃除や洗濯も大変。自らの力で普通に生活を続けることが困難になってきたと、よく耳にする会話です。自宅で「食事」をするには、一般に献立を考え、買い物をし、調理、配膳、後かたづけ、ゴミ出し、キッチンの掃除、収納品の整理などの家事が必要です。現在食事サービスを受けたり、施設へ入所するなどさまざまな援助が受けられるようになってきてはいますが、「住み慣れた家で生涯暮らしたい」と

いう希望者は多いようです。自宅で「食事」ができるようになるには①調理や後片付けなど家事が楽にできる。(イスに座って調理)②安全に作業ができる。(電気を熱源)③簡単に調理できるなど、環境を整えることも大切です。また、食事は人が生命を維持するために必要なだけでなく「つくる楽しみ」、「食べる楽しみ」、「美味しいものを食べる」、「食事を共にする人と会話する」など精神的生活をも充足させる大切なものです。

管理のための食事療法などの効果が、高齢者でも同程度に期待できるとは限らないとの報告もあります。中年期と高齢期では疾病に関係するリスクファクターが異なるからです。その上に高齢者にはからだの「老化」が加わります。「老化」が加速される前にライフスタイル全般を見直し、元気で暮らす自立高齢者の自立性を促すことが大切です。明るいシニアライフスタイルが確率され人生への考え方、「生活」への意志が問われる時代になってきています。

加齢による体の衰えは、だれも避けられないことです。身体機能が衰えると、内臓機能が低下して、栄養を消化・吸収できなくなる。入院・手術等のストレスから食欲不振に。咀嚼力や嚥下力、味覚の衰えから食事が低下。このことから、食事が減少し、主菜が減ると、筋肉や骨、内臓、皮膚をつくるたんぱく質源である魚、肉、大豆製品などが不足する。主食が減ると、体や脳を動かすエネルギー源であるご飯やパン(糖質)が不足する。

副菜が減ると体の機能を調節するビタミン・ミネラル・食物繊維である野菜や海藻が不足する。その上エネルギー源であるバターや植物油が不足する。結果たんぱく質、エネルギー低栄養状態になり、さらに進行すると、日常の動作が衰える。感染症にかかりやすくなる。治癒力、回復力が遅くなる。やがて寝たきりの状態を招くことにもなります。

低栄養を予防するためには、血液検査で「血清アルブミン値」を測定して栄養状態を知っておく。朝トイレの後に体重を測り、記録する。一年で、平常時の体重の5%以上減少したときは低栄養のリスクがあると判定します。食事の主食・主菜の取り方が少なくなったら気をつけましょう。

- ご飯など(主食)を食べる量が減っている
- 肉や魚などおかず(主菜)を食べる量が減っている
- 体重が減少してきた
- 自分で食事の支度をしていない
- 嚥下や口腔の問題があり、食べることが困難
- 毎日一人で食事をしている
- 食事の介助が必要になった
- 入院・手術などの生理的ストレスを経験した



● 労災病院周辺で見られる鳥 ● エゾビタキ

主任薬剤師・吉村正則

秋は渡りの季節、北で繁殖した鳥が南を目指す。ヒタキの仲間には、虫を見つくと飛び立ち又、元の梢に戻る。という独特な行動をする。その時「パチン」と鳴る音が火打石の音に似ていると名付けられたと言われる。

絵の話 (二) 元副院長 影山 浩

馬子にも衣装
東京オリンピックの年に絵を習い始めたから、今年で四十一年になる。それまでに絵を描こうと思つたことは一度もないし、小学校のころは図画が一番嫌いな学

科の一つだった。それが絵を始めようと思つた理由は次の二つである。

一つはマチスやピカソの絵のどこがいいのか、どうして持てはやされるのか、全く分からない。自分で描いてみると、少しは分かるかなと思つたこと。もう一つは歳をとってから一人で楽しめることをつくつてやろうと考えた。昔でもマージャンでもテニスでもゴルフでも相手がなければ具合が悪い。絵なら一人で楽しめるだろうというわけである。

病院職員のなかで希望者を集めて絵画部をつくり、当時、丸亀東中学校に勤めておられた河野浩先生にお願いして、週に一度病院に来て頂いて絵の指導を受けることになった。

今にして思えば、当時の絵画部員の中で間違いなく私が一番下手だった。それまでに絵を一枚も描いたことがない部員は私一人だけだったろう。

下手なりに展覧会をやれという河野先生の指示で展覧会をやることになった。

その時の河野先生の言葉
「額はええやつを買えよ。額も絵のうちじゃ。馬子にも衣装というじゃろ。」私が自慢できるのは、今までまかりなりにも絵を描き続けたことだろう。それも折にふれて河野先生が電話で、あるいは直接に、毎日少しでも描けと励まし続けて下さったことに負うところが大きい。

数年のうちに県展に入選し、新協展に入選した。県展に出品したときには、落選した時に恥ずかしいからと、河野先生にも誰にも言わずに出品したと思う。

新協美術会の会友になり、会員となり、委員になって現在に至っている。次第に忙しくなつた病院

シンチカメラは、当時はシンチスキャナーと呼ばれる原始的な機械だったが、超音波もCTもMRIもない時代に、レ線像では把握できない画像が得られる装置として普及しており、香川県内でも主だった病院には導入されていた。

内科部長になりたての頃、そのシンチスキャナー導入を内科で予算申請した。高価な装置が一度の申請で承認されるとは思っていなかったもので、そのうちに申請を出したことも忘れてしまつてた。放射線科の技師諸君にも相談しなかつた。これが間違いのはじまりである。

スキャナーが一発の申請で承認されたのである。スキャナーが導入される旨を会計課から聞いた当時の放射線科技師長はへそを曲げてしまった。事前

に全く相談がなかつたからである。しまつたと思つてももう遅い。スキャナーの運用について、放射線技師は一切協力しないと宣言された。これは大事件である。スキャナーを導入しても、それが動かないのでは話にならない。その頃検査科では、栗林君が中心になつてアイソトープを用いた微量定量法を導入しつづつあつた。人体内に取り入れたアイソトープを測定するのも、試験管の中で反応させて測定するのも同じじゃないかと屁理屈をこねて、週に一日か二日をスキャナーを動かしてもらうよう説得して、とにかくスキャナーは動き出した。これが現在繁用されているシンチカメラの当院での始まりである。

そのあと、透視装置を導入し、健診部に健診車を導入して出張健診を始めたが、それぞれに看護部との調整や、内科の中での業務分担の調整と苦勞したが、それも今は昔の物語である。



丸亀城

最先端マルチスライスCTと 新型MRI

放射線科技師長 大北 和夫

当院では17年度予算で64列マルチスライスCT1台と、新型MRI(1.5T)2台(現在は1台で稼働)を設置することになっております。

新CTは来年2月、新MRIは来年1月より稼働する予定で、現在計画を進めております。CTについては、現在シングルスライスCT2台を稼働させ診療に当たっておりますが、時代の流れと共にCTはマルチスライスCTが主流になり、4列、8列、16列、32列と多列化のCTが発売され、当院では今以上に診療の質の向上を図るために最新鋭の64列マルチスライスCTの導入を決定し、予算化を進めてきました。このCTは非常に高速な検査が可能で、一日当りの検査数を現在より増やすことが出来る為、予約待ち日数の短縮を図ることが出来ます。また、今まで当院のCTでは不可能で対象外だった心臓の検査も可能になり、検査の幅も広がり患者の皆様へより高度な、質の高い医療の提供が可能になります。MRIについても、最新鋭の機種を導入しますので、検査時間の短縮、精度の高い色々な画像処理が出来、またこの機種は静音設計が施されており、今までのような耳栓が必要なくなる検査ではなくなります。また2台になることにより、予約待ち日数の大幅な短縮を目指しており、皆様の利便性の向上を図ることが出来るかと期待しております。この様に放射線科では、患者様により安全で質の高い医療の提供を目指しております。

外来診療予定表

平成17年9月1日現在

診療科	時間・診察室	月	火	水	木	金	
内科	午前	一診	多田	木口	多田	木口	斎藤
		二診	荒木	永田	三好	荒木	永田
		三診	寺西	三好	吉永	寺西	吉永
		四診	山本	岡本	斎藤	山本	岡本
		五診		水尾			
循環器科	午前	一診	曾根	渡邊	中川	水尾	曾根
		二診	中川		佐伯	渡邊(再来のみ)	
	午後		ペースメーカー			振動	
外科	午前	一診	鶴野	津村	鶴野	村岡	津村
		二診	村岡	立本	国土	木村	佐藤・内海(隔週)
	午後		呼吸器 津村		※乳腺 鶴野・村岡		
整形外科	午前	一診	森谷	大茂	横山	永井	井上
		二診	永井	高田	井上	森谷	横山
		三診	高田		生熊		大茂
	午後	リウマチ外来		リウマチ外来		小児外来	
リハビリテーション科	午前	生熊	田村	高田	生熊	高田	
形成外科	午前	田中	田中	田中	田中(午後)	田中	
脳神経外科	午前	一診	藤本	吉野	寺井	藤本	吉野
		二診	寺井	柚木		平下	
メンタルヘルス科	午前	一診	小山	小山	小山	井上	小山
		二診	井上		井上		井上
泌尿器科	午前	一診	西	西	水野	西	西
		二診	水野	倉繁	小武家	倉繁	水野
産婦人科	午前	一診	川田	大倉	川田	木下	大倉
		癌検診	木下	木下	大倉	川田	木下
	午後	産科予約検診	大倉		木下		川田
		産後検診				交代制	
眼科	午前	一診	小見山	小見山	小見山	小見山	小見山
		二診		国土	国土	国土	
耳鼻咽喉科	午前	一診	森下	森下	森下	石川	森下
		二診	石川	石川	石川		石川
	午後			小児外来			
歯科口腔外科	午前	一診	森谷	森谷	森谷	森谷	森谷
		二診			山田		
麻酔科(ペインクリニック)	午前	一診	北浦	戸田	北浦	友塚	北浦
		二診	小田				
ストマ外来	午前		佐藤看護師		佐藤看護師		

※乳腺外来 鶴野(第1・3・5木曜日)・村岡(第2・4木曜日)

健診部

日帰りドック……………1日20名 火、金曜日
 一般健診……………1日20名 月、水、木曜日
 脳ドック……………1日1名 月、火、木曜日
 雇入時の健康診断) ……………1日30名 (隔週)水曜日
 定期健康診断

海外派遣労働者の健康診断……………随時
 特殊健康診断……………随時
 振動障害健康診断……………1～3名 金曜日
 健診車による出張健診……………月～金曜日
 丸亀市住民検診……………月～金曜日

※全ての健診は予約が必要です。 ※健診の曜日は変更になることがあります。

- 当院は、政府管掌健康保険生活習慣病予防健診事業の指定病院となっており、該当する方は補助を受ける事が出来ます。
- 健診の結果、二次検査が必要となった場合、内科系・乳腺外来のみ当院で予約を行っております。

抗がん剤による治療

薬剤部 島田 憲一

がんの治療には大きく分けて局所療法と全身療法があります。局所療法には手術療法や放射線療法などがあり、全身療法として抗がん剤療法があります。一般に固形がん(胃がんで肺がんなど)の治療は、早期発見による局所療法が第一選択の治療法となりますが、血液のがん(白血病やリンパ腫)や固形がんが転移もしくは再発したものに關しては抗がん剤療法が適しています。抗がん剤による治療は近年目覚ましい進歩をとげ、血液のがんや一部のがんについては抗がん剤による治療で完治できるようなりましたが、大部分のがんではまだ完治するところまでは至っていません。したがって、現在の抗がん剤による治療はがんとの共存(共生)が大きな目標となっており、抗がん剤治療も長期にわたることが多くなっています。抗がん剤には様々な種類があり、がんの種類によって多くの組み合わせやスケジュールが考えられています。私たち薬剤部では複雑な抗がん剤治療を間違えずに安全に行うために、それぞれの患者

様に対する投与量や組み合わせ、スケジュールが計画通り行われているか、医師とのダブルチェック体制を敷いています。また実際の治療が清潔に行えるよう、清潔な環境(クリーンルーム・安全キャビネット)で抗がん剤を調製し、薬剤師2名によるダブルチェックを行った上で

救急救命士について

抗がん剤を患者様の治療の現場へ届けています。抗がん剤治療は医師を中心に薬剤師、看護師などの様々な職種が力を合わせてチーム医療として取り組んでおりますが、患者様にしか分からないこと、患者様が最初に気付くこと(副作用も含めて)もございまして、疑問に思ったことや体調のこと、その他お気づきになったことはなんでも遠慮なくおっしゃってください。

救急救命士 中村 理恵

皆様、救急救命士をご存知でしょうか?そう!救急車に乗車して、患者様の救命処置をする人の事です。救急救命士は、平成3年に救急救命士法が法制化され、その第1条で搬送途上における医療の充実を図るため救急救命士を医師の指示下に行うことができる資格を定められています。そして、救急救命士になる為には、救急救命士養成所にて、6ヶ月の研修を受け、国家試験に合格しなければいけません。ではなぜ、救急救命士の必要性があるのでしょうか?それは、法律化されるまでの、救急隊員ができる処置は限られているものでした。その為、救急車で搬

送されても、十分な救急救置はできず、救命率を上げるまでには至りませんでした。その為、厚生労働省と消防庁で検討した結果、救急救命士を創設したものとされています。少子高齢化で、せつかく生を受けた命を疾

研修医紹介

臨床研修医 西 理子



私が労災病院に2年目の研修医として来てから早いもので4ヶ月が経ちました。2年

目には産婦人科、小児科、地域

お知らせ

- ◆糖尿病教室◆
 - 9月2日(金) 15時~16時 糖尿病について 岡本Dr 栄養相談室
 - 9月9日(金) 15時~16時 食事について 栄養士 栄養相談室
 - 9月16日(金) 14時~15時 運動療法 理学療法士 第2会議室
 - 9月30日(金) 15時~16時 糖尿病について 岡本Dr 栄養相談室
 - 11月4日(金) 15時~16時 糖尿病について 岡本Dr 栄養相談室
 - 11月11日(金) 15時~16時 食事について 栄養士 栄養相談室
 - 11月18日(金) 14時~15時 運動療法 理学療法士 第2会議室
 - 11月25日(金) 15時~16時 糖尿病について 岡本Dr 栄養相談室
 - 9月15日(木) 13時30分~15時 「あなたの乳腺と命を守るために」乳癌の診断と治療について 講師 第3外科部長 村岡 篤

病・事故で消すことなく助けようと懸命に守っている職種の人達が、医療機関外にも存在することを知っておいて下さいね。

医療、精神科が研修として組み込まれており、他の病院や施設に行くことが多かったと思えます。小児科では三豊総合病院、

地域医療では保健所と医院、精神科では普通寺病院と、それぞれの病院や施設で、指導医の先生方やスタッフの方々の指導のもと、さまざまな経験をさせていただきました。

また、他の病院の研修医の先生方と触れ合う機会にも恵まれました。地域医療では、他の医院や保健所と香川労災病院との連携を実際に体験して、地域との結びつきがどういふものかを知ることができました。

9月からは香川労災病院での研修に戻ります。至らないところが多々あるとは思いますが、医師として経験してきたことを生かし、実り多い研修生活となるようにがんばっていききたいと考えています。

内視鏡技師

外来内視鏡室 岡本澄美子

西5病棟 今田御洋子

東4病棟 三谷 福美

「内視鏡技師」：聞きなれない言葉ですが、「内視鏡技師」とは日本消化器内視鏡学会より資格認定され、医師の監督指導のもとに消化器内視鏡業務に従事する者です。現在全国に1万人以上の技師が登録されその8割が看護師です。内視鏡技師の求人広告もみられ徐々に社会的に認められつつあります。当院でも三人の内視鏡技師がそれぞれの役割を持って勤務しています。近年内視鏡機器の発達は目覚ましく、内視鏡は単なる検診の域を大きく越え早期癌の切除

や膽管系の処置など内視鏡を用いた治療が増えてきています。その内視鏡の構造は特殊で、整備・取り扱いについては専門の知識や技術、経験が必要です。内視鏡技師の業務はそれらの処置がスムーズに行われるように内視鏡及び周辺機器を整備し、患者様に対しより安全で安楽な検査が受けられるよう 看護師として精神的、肉体的にサポートを行うことです。近年、内視鏡看護セミナーが開催され内視鏡室の看護の重要性が叫ばれています。技師であると同時に看護

「手術にこの文献が必要なので急いで取り寄せて！」このテーマで深く調べたいので検索して！毎日、多くの医療スタッフが医学文献を求めて図書室に飛び込んできます。司書は5000冊余の蔵書、2000種年間3000冊の所蔵医学雑誌の中から、またインターネットでの各種データベースを用いて情報を検索し、当院に該当文献が無い場合は、全国の医療機関より文献取り寄せを行っています。また他の病院からも、毎日多件の文献依頼の申し込みがあり、年間1500〜2000件程の文献をやり取りしています。

図書室司書は「情報屋さん」 司書 高橋 二美

毎日の図書・雑誌受け入れ業務、データ入力・提供、レファレンス、各ネットワーク目録管理、病院雑誌編集業務、医局雑務に加えて、この文献検索・文献相互貸借業務は図書室の大きな柱となっています。「Dr.や医療スタッフから依頼されたこの一件の文献の向こうには、その情報が必要として待っている患者様がおられる！」この思いを常に大切に、日々、より速く、適切な医療情報をお届けできるよう、患者の皆様への回復を祈りながら、お役に立てる図書室を目指して、さらに励ませて頂きたいと願っています。

師として患者様のケアが重要であると考えています。また内視鏡は消化器官の中に挿入されるものであり高レベルな消毒が必要ですが、簡単に洗浄・消毒ができず、他の医療機器のように使い捨てにすることができません。当院では日本消化器内視鏡技師学会の「内視鏡の洗浄・消毒に関するガイドライン」

薬剤部紹介

薬剤部 廣畑 京子

現在薬剤部では、薬剤師10名と薬剤助手1名で仕事をしています。平均年齢42歳といった、ベテランぞろいです。平成14年4月より、外来患者様のお薬は基本的に院外調剤薬局でお薬をもらう医薬分業となりました。

に基づき当院独自のマニュアルを作成しています。内視鏡を介しての感染を起こしてはならないという強い目的意識をもち、確実に再生処理した内視鏡を患者様に提供しています。また内視鏡の洗浄・消毒履歴や感染対策委員（ICT）の監査システムも全国に先駆けて導入し「質保証」への取り組みも行っています。



香川労災病院薬剤部では、調剤業務・無菌製剤混注業務・服薬指導業務・血液業務・DI（医薬品情報）業務・安全管理業務・感染対策業務・栄養サポート業務などの多数の分野において薬の専門家として、頑張っています。また、患者様が安心して治療を受けられるよう、薬品の適正な管理や使用に努めています。

編集だより

患者サービス向上委員会
秦 佳子

今年の夏も厳しい暑さと深刻な水不足に悩まされました。連日の熱帯夜で、夏バテや体調を崩されたりされなかつたでしょうか？

広報誌「いぶき」も今回で17号の発行となりました。患者サービス向上委員会では皆様から提供して頂いたご意見、ご要望などを積極的に取り入れ、皆様にお役に立つ情報、ご希望に沿った内容の「いぶき」となるよう努力しております。今後もご愛読して頂き、ともしご感想もお寄せ下さい。

薬剤部は病棟の正面玄関より入り、左手受付カウンターの5番窓口にあります。薬に対して質問や疑問などがある時には、ぜひご相談下さい。また、病棟にはそれぞれ担当の薬剤師がいます。入院された際に、薬剤師が患者様の下へ赴き色々話を伺うことがあります。その時にはぜひ、ご協力をお願いいたします。また薬に対する質問は病棟担当薬剤師にどうぞお気軽にご相談下さい。